

大田区自立支援協議会 防災部会議事録

文責：石塚委員（区事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第2回防災部会				
(2) 開催日時	平成30年6月19日（火）13時30分～15時30分				
(3) 開催場所	大田区立障がい者総合サポートセンター3階 集会室				
(4) 出席した委員、事務局等	委員（部会長：志村 陽子） <敬称略>				
	田邊 俊子	遠藤 文夫	宇田尻 浩司	一色 隆雄	寺嶋 広子
	栗田 修平	在原 寛子	篠崎 哲也	金丸 正明	石塚 由江
	黒川 建				
	オブザーバー： 八尾 隆一（蒲田警察署）、竹山 淳（蒲田消防署）、 山田 加寿美（田園調布消防署）				
	区職員： 木村 正樹（健康政策部健康医療政策課）、 佐藤 雄輝（防災危機管理課）、 高野 耕治（上池台障害者福祉会館長）、 山戸 健司（障害福祉課）、 小泉 洋子（障がい者総合サポートセンター）				
事務局： 小林 善紀・森崎 恵里（障がい者総合サポートセンター）					
<p>1 司会・書記の確認</p> <p>2 配付資料の確認</p> <p>3 各委員、各参加機関からの情報提供</p> <p>○糀谷中学校の学校防災活動拠点とした防災訓練を見学。1年生150名が参加。毎年、訓練を積み重ね、モデル的な取組となっている。</p> <p>○東京都自立支援協議会の参加者より 区の自立支援協議会と同様の仕組みで、知的障がい当事者も委員となっている。</p> <p>○おおたTSより 毎月第3木曜日に定例会を開催。市民団体「ARCH(アーチ)」北島拓也氏を招き「東京ストリートカウント」の活動について情報提供があった。また、拡大定例会として「児童虐待から考える」をテーマに講演会を実施する予定。</p> <p>○福祉防災コミュニティ協会 5/31～6/6の間、東京ビッグサイトで「東京国際消防防災展2018」が開催された。災害疑似体験ができる「VR防災体験車」を紹介。また、「ぼうさいこくたい2018」が10月に東京ビッグサイト・そなエリアにて開催される。</p> <p>○消防署職員 「VR防災体験車」についての説明。バーチャルリアリティ映像で周囲を360度見渡すことができ、これまでにない臨場感あふれる災害体験ができる。地震・火災・風水害の3コンテンツが用意されていて、映像にあわせ、座席が動き、風や匂い、水しぶきなどで臨場感を高める。VR車を訓練に呼びたい要望があれば、各地域の消防署に問い合わせ可能。</p>					

4 事務局からの情報提供

(1) 防災課から

ア) 地区防災訓練（大田区の総合防災訓練）についての情報提供

○羽田地区 9月24日終日 萩中公園

○鶉の木地区 10月21日午前 東調布第三小学校

○馬込地区 10月28日午前 馬込第三小学校

イ) 「命を守る3動作」シェイクアウト訓練について。

9月3日10時より防災行政無線で区内一斉に訓練を呼び掛ける。

(2) 障がい者総合サポートセンターから

7月23日15時30分～17時30分、自衛消防訓練を実施する。自衛消防訓練であるため、見学のみ可能。委員4名の見学希望あり。

5 年間スケジュール

防災部会の年間スケジュールを確認。

5つの専門部会の合同部会を9月4日もしくは9月5日に開催予定。

6 年間議題の再確認

【課題1】地域との連携

(1) 総合防災訓練（3地区）へのブース参加

ヘルプカードの配布、活用の発信を中心に、具体的な取り組みは、作業部会で検討する。

(2) 地域の防災訓練への参加

近隣の特別出張所へ見学・参加について打診する。

【課題2】学習・情報発信の継続 ～「誰もが被災者になる」視点で～

昨年度同様に、10月29日（月）に障がい者総合サポートセンターで講演会を実施予定。今後、他部会との合同部会を兼ねて実施するか、具体的なテーマを検討していく。ワークショップ形式や防災クロスロード等の手法で主体的に学ぶ方法の提案があがり、作業部会で案を作成した後、7月の専門部会で検討することとした。

【課題3】福祉避難所開設訓練への協力

- ・障がい者総合サポートセンターは10月に実施予定。
- ・地域の学校避難所運営協議会に出席した際、「福祉避難所」について話す機会があった。福祉避難所の周知が必要であると感じた。

【課題4】ヘルプカードについて

手に取った人や実際に使用している人の意見を集約していく。ヘルプカードの評判などを記録し、専門部会で共有しながら、積み上げていく。

【課題5】今年度の取り組み成果の共有、継続課題の次年度への引き継ぎ

すぐに取り組めるものと、時間をかけて協議していくことが必要な取り組みに分けていく。

7 前おおた障がい施策推進プラン（平成 27 年度～29 年度）の確認

防災部会の活動との関係性を下記のとおり確認した。

ア) 災害時における要配慮者支援の推進

- ・総合防災訓練等で障がい当事者が要配慮者として参加することで、意見交換を図れた。また、当事者として自助の課題を再考し、課題を話し合えた。

イ) 災害時相互支援意識の普及啓発

- ・平成 25 年度にヘルプカードの作成と配布、またヘルプマークのクリアファイルを作成し、周知活動を行った。
- ・外部講師を招き、地域防災について学ぶ機会を設けた。

ウ) 福祉避難所の体制整備

- ・福祉避難所ステッカーとのぼり旗を作成し、地域や関係者に周知を行った。また、福祉避難所開設訓練に見学・参加した。
- ・施設長会への災害対策に関するアンケートを実施。

⇒体制整備や取り組み状況を評価は目的とせず、アンケート結果から見えてくる課題について、意見交換を行い、委員にも防災意識に変容があった。

8 その他

- ・児童発達支援地域ネットワーク会議での「防災への関心はあるものの、何から取り組むべきか知りたい」という意見の報告があった。

※ 次回日程

日時：平成 30 年 7 月 23 日（月） 13 時 30 分～15 時 30 分

会場：障がい者総合サポートセンター 3 階 集会室